

【悪魔】 半年ほど前に新型コロナウイルスエンザのことを話題にしましたが（2009年8月号）、あれから新型インフルエンザは一体どうなったんですか？

【天使】 社会全体の対応自体は、一時期に比べて冷静になってきているものと思われるが、肝心の流行の方は、猛威を振るっていると言って差し支えない。未成年者のうちかなりの割合の者が罹患したとの情報もあり、現に、学級閉鎖や学校閉鎖は珍しくないし、行事の中止や延期も相次いでいるようだ。

【悪魔】 それは冷静な対応というより、単に報道されていないだけでしょ？ だいたい、秋から冬にかけてはもともと風邪が流行りやすい時期なわけですから、かかる人の数が多いこと自体は、あまり心配いらんじゃありませんか？ それにしても、学級閉鎖や学校閉鎖が相次いでいるというのは問題ですね。閉鎖の基準が厳しくなったためなんでしょうけど、そんなに簡単に閉鎖や中止をしまって、学校の運営は大丈夫なんですか？

悪魔と天使の 法学入門

筑波大学准教授 星野 豊

第36話

新型インフルと 学校の対応・その後

【天使】 予定されていた授業や行事が中止されたり延期されたりすることが、学校にとって望ましくないことは言うまでもない。しかしながら、これだけ社会全体に罹患者が増えている状況の下で、当初予定されていたというだけの理由で授業や行事を強行することが、学校の教育目的との関係で必要かつ有益かと言えば、そのようなこともあり得ない。学校の授業や行事は多数の者が一堂に会して行われ、そのうち多数を占める者は、抵抗力の弱い年少者であるわけだから、学校の授業や行事が原因で罹患したなどという事態は、できる限り避ける必要があることは明らかだろう。

【悪魔】 でも、学校に行ったら友達に風邪をうつされた、ということとは、そんなに大変なことなんじゃないかね？ 他人にうつすつもりでわざと風邪をひいて病原菌をばらまいた、という子はさすがにいないでしょうから、みんな別にかかりたいと思っていないのに、治り切らない子と調子の悪い子がたまたま一緒にあったせいでうつってしまった、ということなんじゃないませんか？ それが学校という場でおきるこ

とが多いのも、子どもたちが大半の時間を学校で過ごしている以上当たり前でしょう？ まあ、ほかに病気を持っている人や幼い子どもたちにとっては、インフルエンザがなかなか怖い病気であることは間違いないので、かからないに越したことはないと思いますけどね。そんなに学校の責任問題を気にするのなら、学校に来るように子どもたちに強制している時点で既に責任の一端が生じているわけですから、学校に通うかどうか全部子どもと保護者の側で決めるようにしなければいけないんじゃないでしょうか？ ふだんいろいろと競争させておいて、ちよつと風邪が流行ったから風邪をひいた子の方に全員が合わせる、というのは、かなり無茶な気もするんですけど。

【天使】 かつての学校教育は、あらゆる意味での健康維持が児童生徒個人と各家庭における自己責任の問題として位置付けられていた面があったから、インフルエンザが流行したという事実だけでは、予定されている教育課程を滞りなく実施することの方が優先され、学級閉鎖を行うのは、多数の児童生徒が欠席して教育効果



に具体的な支障がでるような場合に限られていたものと言える。しかしながら、社会の中に様々な者がいるという前提に立って、すべての資質や個性を有する者が平等に権利と利益を持って共生することを目的とするのであれば、他人の疾病に乗じて自己の利益を追求することは許されるものでないことが明らかであり、むしろ流行の鎮静に向けて社会全体で協力する体制をとることが、重要視されるようになっていくと言いうこともできる。その意味では、風邪くらいで、という反応は、現代社会における学校教育の意義を後退させることになりかねず、支持することはできない見解である。

【悪魔】 それは完全に間違っていますよ。風邪が流行ったからといって学校を閉鎖するのは、弱い人を社会全体で守ることとはむしろ逆で、弱い人を各家庭に押し込めて社会から切り捨てるということでしょう？ 実際、もつと重い病気については社会全体で見ないふりをしていなのに、目につきやすい新型インフルエンザだけが、過剰反応されているような気がしてならないんですよ。